

公益信託しまね文化ファンド 2019年度 前期決定事業一覧

■地域文化振興

単位:千円

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成 決定額	事業概要
1	荒神谷遺跡青銅器発見 35周年記念事業	特定非営利活動法人 出雲学研究所	出雲市	7月・9月 ・1~3月	700	青銅器発見35年の節目として、これまでの研究の最新状況を専門家から聞き荒神谷遺跡の価値と魅力を再認識するためのフォーラムを開催する。また、地元斐川の神楽団体による国生みに関する神楽公演と古墳や史跡を巡るウォークを行い、郷土の歴史と文化遺産をあらためて考える機会とする。
2	小泉八雲再発見講演会	島根半島四十二浦巡り再発見 研究会（※団体住所 出雲市）	隠岐の島町 西ノ島町	6月 7月	200	諸外国に日本を民俗学・宗教的観点から紹介した小泉八雲の心をテーマに、隠岐の島町と西ノ島町で講演会を開催する。講演後には地域住民とディスカッションを行い、隠岐の魅力を再認識する。また、隠岐に伝わる伝承文化を実演まじえて紹介し、保存への取り組みとする。
3	市民劇「秦佐八郎物語」主題歌 「笑顔のために」のピアノ譜完成披露 コンサート	特定非営利活動法人 NPO-MASUDA	益田市	4月	400	益田市出身の細菌学者「秦佐八郎博士」を顕彰しようと合唱コンサートを開催する。NPOが制作し、秦博士没後80周年記念事業で上演した市民劇の一部を再演するほか、市内の合唱団体および博士に縁の音楽家と出演者合同で劇のテーマ曲を大合唱する。ホワイエでは博士の功績を紹介する展示も行う。
			<b>小計</b>	<b>3件</b>	<b>1,300</b>	

■芸術文化振興

単位:千円

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成 決定額	事業概要
4	<県民文化祭共催事業> 出雲歌舞伎公演 むらくも座2019 ~元氣な担い手育成事業~	島根県地歌舞伎連合会	出雲市	9~11月	3,300	出雲地方に伝承されながらも戦後過疎化により一時上演が途絶えた出雲歌舞伎の演目を、約43年間にわたり復元してきた。その貴重な演目を次世代に継承するため、子どもと若手を積極的に登用し地歌舞伎公演を行う。練習を通して礼儀や所作を伝えるほか、企画・運営を担うスタッフの育成も目指す。
5	<県民文化祭共催事業> 第11回 出雲神在月市民芸術 文化の祭典	出雲市文化団体連合会	出雲市	10月	700	出雲市内で活動する子供から大人までの文化団体に加え、旧出雲地域の団体にも積極的な参加を促し、それぞれの特色を生かした伝統芸能や伝統行事、創作芸能や音楽など様々なジャンルの発表を行う。地域の文化活動を広く紹介するとともに、参加団体同士の交流にもつなげる。
6	万葉音楽祭 2019 伍	万葉音楽祭実行委員会	益田市	4月	600	石見神楽の新たな魅力と可能性を引き出し、地域の誇りとして次世代に受け継いでいこうと、子供神楽含む地元神楽社中と「Dragon Ash」のATSUSHI氏、ほかプロミュージシャンとの共演で神楽を上演する。市内の高校吹奏楽部も出演し、ミュージシャンとの合同演奏も行う。
7	ユニットや・ゆ・よ 第2回公演	ユニットや・ゆ・よ (※団体住所 松江市)	出雲市 益田市	5月 6月	300	県東西に面白い演劇を届けたいと演劇経験問わず集まった有志で2016年に団体を結成。観劇初心者にも演劇の醍醐味が伝わるような作品を掘り起こし、出雲市と益田市の2カ所で公演を行う。演劇活動の東西交流を図るとともに裾野拡大を目指す。
8	創立20周年記念 Yプロ演劇フェスティバル	劇団Yプロジェクト	松江市	7・8月 11~1月	1,600	創立20周年記念とし、「コメディ」をテーマにした演劇公演と、地元演劇人のスキルアップを目指して落語と演劇のワークショップを実施する。公演出演者は一般からも募る。「笑い」に着目することで誰にでも親しみやすい演劇フェスティバルとして取り組み、新たな活動者と観客の開拓を図る。

公益信託しまね文化ファンド 2019年度 前期決定事業一覧

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成 決定額	事業概要
9	I AM I THE SHOW vol.2	アイアムアイ I AM I 実行委員会	出雲市	4月	300	ダンスが年代や国籍問わず、世界共通の言語として楽しめる文化であることを発信しようとダンスと音楽によるステージを行う。市内でダンスの練習に励む小学生から50代までのダンサーと山陰在住のミュージシャンが出演するほか、県内の伝統芸能団体が協力参加し、表現や文化の違いなども見てもらう。
10	コネクト コネクト	ダンスカンパニー スカーチェ (※団体住所 出雲市)	雲南市	6月	900	「縁」をテーマに、島根では普段触れる機会の少ないコンテンポラリーダンスの公演を行う。構成・演出・振り付け全て団手で手がけ、出演者は一部公募する。公演に向け、理解を深めてもらうためにワークショップを実施するほか、公演後にはアフタートークを行う。
11	<県民文化祭共催事業> プリマヴェーラ15	島根県洋舞連盟	松江市	12月	3,500	クラシックバレエとジャズダンスの2団体が構成し、島根の舞踊文化を広げようと、毎年オリジナル作品による公演を行っている。平成25年からは他分野とのコラボレーションに取り組んでおり、今回も和太鼓奏者と日本舞踊家と共に新しい作品に挑戦する。
12	【参加者公募事業】 ミュージカル「今、歩き出す。」	石西ミュージカル実行委員会	益田市	6月	1,500	平成27年に上演したオリジナル作品を、公募キャスト約30人と地元ミュージシャンの生演奏で上演する。演出・振付ではプロの指導を受ける。また、脚本の改稿に合わせて楽曲や演出を見直すほか、舞台美術を充実させ、質の高い舞台を目指す。
13	【参加者公募事業】 ミュージカル 「あいと地球と競売人」	「あいと地球と競売人」 自主企画実行委員会	松江市	9月	3,800	昨年、民間有志の手で5年ぶりに復活上演させた県民参加型ミュージカルに引き続き取り組む。子どもから大人まで約130人の出演者を広く募り、5カ月にわたる制作期間を経て3日間で6公演行う。舞台作りを通して環境問題への意識も高める。
14	第25回混声合唱団クリスタルコール 平田定期演奏会	混声合唱団 クリスタルコール平田	出雲市	11月	300	定期公演25回目の節目として、これまでの活動を支えてくれた地域への感謝を込め、ふるさと平田のすばらしさを歌に乗せてアピールする。平田町内の小学校と中学校合唱部が賛助出演し、最後には合同合唱を披露する。
15	田中義浩とその合唱団たち (仮称)	田中義浩とその合唱団たち(仮称) 実行委員会	松江市	7月	300	バリトン歌手として長く活動しながら県内合唱団体の育成にも努めてきた田中義浩氏と、彼が指導する4つの合唱団によるジョイント演奏会を開催する。トランペットやパイプオルガンとの共演で、国内外様々な歌を披露する。合唱曲から放たれる多彩な文化を享受してもらう。
16	10th 持込みライブ	ラメール・ジャズ・オーケストラ ジャズキャンパス	雲南市	6月	250	2009年に社会人のジャズ団体として結成し、雲南市を拠点に各種イベントへの参加や自主ライブを行っている。団体結成10年を記念し、これまでの経験を生かした個性あふれる団体演奏と、元タカラジェンヌの踊りとの初共演を披露する。
17	【参加者公募事業】 雲南フェスティバルオーケストラ 2019 コンサート	雲南フェスティバルオーケストラ 実行委員会	雲南市	6月	700	一定の期間でメンバーを集めてコンサートを行うフェスティバルオーケストラに取り組む。「オール島根」をコンセプトに40～60名の管弦楽参加者を募り、プロの指揮者の指導を得てレベルの高い演奏を目指す。事業を通してオーケストラ演奏会を企画・運営するノウハウも学ぶ。
18	工藤重典フルート講習会 & 出雲大 社奉納公演(仮称)	工藤重典フルートライブ & レクチャー実行委員会	出雲市	10月	700	プロのフルート奏者を講師に招き、県内でフルートを学ぶ中高生・一般を対象にした講習会と、出雲大社で奉納演奏会を開催する。演奏会では地元のフルート奏者とプロ奏者との共演などを行う。また、島根では珍しいボディマッピング講習会も実施し、演奏における身体の使い方を学ぶ。

公益信託しまね文化ファンド 2019年度 前期決定事業一覧

事業名	団体名	実施地	実施月	助成決定額	事業概要
19 熱響UNNAN+ (プラス) みんなでかな でるハーモニー～福島氏を迎えて～	みんなでかなでるハーモニーin 雲南実行委員会	雲南市	4～10月	1,000	地域住民はじめ、障がいを持つ方や病と闘う方など、誰にでも気軽にクラシック音楽を楽しんでもらうことをコンセプトにした音楽祭で、今回は福島明也氏を講師に迎え、ワークショップや共演を含めたコンサートを行う。より充実した内容と円滑な運営のため、音楽療法士や福祉関係者など専門家の協力を得て取り組む。
20 隠岐島音楽祭	隠岐島音楽祭実行委員会	隠岐の島町	8～9月	300	実行委員会所属団体によるオペラや合唱の演奏会、福島明也氏を講師に迎えワークショップなどを開催し、そのフィナーレとして公募合唱団によるコンサートを開催する。隠岐で活動する音楽団体の活性化と文化活動の裾野拡大を目指す。
21 丹青会10周年記念展	丹青会	松江市	5月	300	日本画の研究会として2010年から活動しており、結成10周年の節目として会員による50作品を中心とした展覧会を行う。日本画材の紹介コーナーを設けるほか、発足時から指導を受けてきた講師によるギャラリートークも実施し、日本画の魅力を伝える。
22 ＜県民文化祭共催事業＞ 第13回 しまね写真展	島根県写真家連盟	松江市	5月	300	島根県民および島根に関心がある人を対象に、自由な発想で撮影した未発表写真を募り展示発表を行う。連盟による公開審査会と講評会を実施し、出品者へのアドバイスも行う。高校写真展も併設し、若い世代にも写真の楽しみ方を発信する。
23 第8回 島根県アンデパンダン展	島根県アンデパンダン展 実行委員会	松江市	8月	100	「自主・独立」を意味し、無審査、無賞を旨とするアンデパンダン展を開催する。洋画から書、ちぎり絵、写真、彫刻、インスタレーションなど平面・立体表現作品など様々な作品を公募する。既存の出品規格や分野に収まらない作品に発表の場を提供し、創作活動の裾野拡大と埋もれた人材の発掘を目指す。
24 SEED特別展 -新井知生の40年と教え子たちの今- 展	SEED実行委員会 -新井知生の40年と教え子たちの今- 展	松江市	11～12月	300	島根大学美術専攻教授の新井知生氏とゼミの卒業生・在校生有志が3年おきに実施している自主的な絵画展。今回は規模を拡大し、ゼミ生たち約40名と新井氏の40年にわたる制作活動において生まれた大作など約90点を展示する。ギャラリートークも交え、現代美術の多様さと新奇性を発信する。
25 ＜県民文化祭共催事業＞ 第28回 しまね映画祭 (しまね映画塾 2019)	しまね映画祭実行委員会 (※団体住所 松江市)	隠岐の島町 *「映画祭」は 県内各地	6～11月	3,400	平成15年から開催している映画制作ワークショップで、一般公募で集まった参加者たちが8～10名の撮影グループに分かれ、塾長である錦織良成氏のアドバイスを受けながら短編映画を完成させる。今回は初開催となる隠岐の島町で行い、撮影を通して隠岐の魅力再発見の機会とする。
<b>小 計</b>			<b>22件</b>	<b>24,450</b>	

<b>2019年度前期 助成事業</b>	<b>合 計</b>	<b>25件</b>	<b>25,750</b>
----------------------	------------	------------	---------------

単位：千円